

## 工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a	b	c	d	e		
1. 施工体制	I. 施工体制一般	施工体制が特に良好である	施工体制が良好である	他の事項に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である		
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 工事カルテを、事前に監督員の確認を受け、契約締結後等10日以内に登録機関に申請が完了している。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場代理人及び主任(監理)技術者届(当初)、契約工程表(当初、変更)が契約締結後14日以内に提出されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 掛金収納書の写しを契約締結後1ヶ月以内に提出した。</p> <p><input type="checkbox"/> 「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を現場に掲示している。</p> <p><input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 労災保険関係成立表を工事現場従事者の見やすい場所に掲示している。</p> <p><input type="checkbox"/> 建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見やすい場所に設置し、主任(監理)技術者を正しく記載している。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質証明に係る体制が有効に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事下請通知書(施工体制台帳等を含む。)を下請契約後直ちにかつ下請工事の着手日までに提出している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体制台帳を現場に備え付け、かつ適宜変更の都度同一のものを提出している。</p> <p><input type="checkbox"/> 下請負契約書(写)又は請書(写)及び再下請通知書を添付している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体系図を工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。また、施工体系図に記載のない業者が作業していない。</p> <p><input type="checkbox"/> 受注者が、その下請工事の施工に実質的に関与している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>	
		<p>_____ / _____ = _____ %</p>						
		<p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... b</p> <p>該当項目が80%未満 ..... c</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合にC評価とする。</p>			

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
1. 施工体制	II. 配置技術者 (現場代理人等)	技術者が適切に配置されている	技術者がほぼ適切に配置されている	他の事項に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 現場代理人は、現場に常駐している。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場代理人は、工事全体を把握し、監督員への連絡調整、協議等を適切に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場代理人は、設計図書と現場に相違がある場合、その事実が確認できる資料を提示して確認を受けている。</p> <p><input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任し、配置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 主任(監理)技術者は、仕様書及び諸基準に基づき、書類を適切に作成し、整理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 主任(監理)技術者は、契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。</p> <p><input type="checkbox"/> 主任(監理)技術者は、施工体制、施工状況を把握し、下請負業者、部下等をよく指導している。</p> <p><input type="checkbox"/> 主任(監理)技術者は、施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 主任(監理)技術者は、施工に伴う工夫又は、提案をもって工事を進めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</p>			<p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>_____ / _____ = _____ %</p>					
		<p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... b</p> <p>該当項目が80%未満 ..... c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>			

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が特に良好である  [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号から第5号に基づく設計図書の照査を行っている。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、設計図書及び現場条件を反映した内容の施工計画書を提出している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の記載内容と現場体制が一致している。 <input type="checkbox"/> 工事材料が事前に監督員に届出され、適切に管理、保管している。 <input type="checkbox"/> 施工途中の出来形、品質管理が書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓が、日常的に行われている。 <input type="checkbox"/> 立会確認、段階確認の手続きが適宜及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 建設副産物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取り組みが、適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事打合せ簿などを不足無く整理している。 【新規】 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )	施工管理が良好である	他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		該当項目が90%以上 ..... a <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % 該当項目が80%以上90%未満 ..... b 該当項目が80%未満 ..... c	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                      ③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数                      ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。                 </div>			

## 工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	II. 工程管理	工程管理が優れている	工程管理が良好である	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 適切な工程管理、関連工事の調整を行い、工程の遅れがない。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が早い。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 休日・代休の確保を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 近隣住民(入居官署等を含む)との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 <span style="float: right;">【新規】</span></p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</p>			<p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 10px;"> <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> / <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> = <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> %                 </div>					
		<p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... b</p> <p>該当項目が80%未満 ..... c</p>					
		<p>① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( %) = ( )評価数 / ( )対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>					

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	安全対策が優れている	安全対策良好である	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 災害防止協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全教育・安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全パトロール、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。</p> <p><input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 過積載防止に十分に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 足場や支保工の設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者には是正指示している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 【新規】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 【新規】</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</p>			<p><input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>_____ / _____ = _____ %</p> <p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... b</p> <p>該当項目80%未満 ..... c</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>	

工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

審査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	IV. 対外関係	対外関係が優れている	対外関係が良好である	他の事項に該当しない	対外関係がやや不備である	対外関係が不備である	
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整をしている。 <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、近隣住民(入居官署等を含む)との施工上必要な交渉、工事の施工についての苦情対応を適切に行い、その内容の報告がある。 <input type="checkbox"/> 隣接工事又は、施工上密接に関連する工事と相互に協力を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 現場のイメージアップに取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員が文書による改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		該当項目が90%以上 ..... a <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % 該当項目が80%以上90%未満 ..... b 該当項目が80%未満 ..... c	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                      ③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数                      ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。                 </div>				

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

(監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形  <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
		<p>※ ばらつきの判断は評定別紙5 参照。</p> <p>① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。            ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。            ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で出来形管理を行うものである。            ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。            ⑤ 主たる工種の管理測点が10点以下の工事ではばらつきで評価できない場合は、規格値・基準値・設計値と測定した出来形寸法との差の大小など、測定値と許容値等との関係性をもってばらつき評価に代えてもよい。</p>				

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

(監督員)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d	e
			適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	機械設備工事  ※上記欄によらず、当該欄で評価する場合はチェックを入れる	[評価対象項目]			<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
			<input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無い。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値( %) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
			_____ / _____ = _____ %				
			●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....b 評価値が80%未満.....c				



工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

監督員

審査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
		※ ばらつきの判断は評定別紙5参照。 ① 品質の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事事務物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で品質管理を行うものである。 ④ 品質管理項目を設定していない工事及び主たる工種の品質管理に係る試験結果の打点数等が10点以下の工事はばらつき評価が適当ではない場合として、以下の項目を用いて評定を行うものとする。				
	II. 品質 <input type="checkbox"/>	※ ばらつき評価が適当ではない場合				
		a	b	c		
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
		<input type="checkbox"/> 工事内容、規模に適した品質管理項目及び頻度が施工計画に的確に示されている。 <input type="checkbox"/> 品質管理基準のない項目について、事前に監督員と協議し、管理基準を設定している。 <input type="checkbox"/> 品質試験は、項目・頻度ともに必要数実施されており、結果が整理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書(ミルシート、検査証明書など)が整理されている。 <input type="checkbox"/> 工事写真により、品質確認状況、試験・検査状況等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件、気象条件を考慮して施工している。 <input type="checkbox"/> 品質管理及び記録の整理に工夫がみられる。 その他( )				
		● 判断基準 該当7項目以上.....a 該当4項目以上7項目未満.....b 該当4項目未満.....c				



工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

監督員

審査項目	細別	工種	a	b	c	d	e
			適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	電気設備工事  ※上記欄によらず、当該欄で評価する場合はチェックを入れる	[評価対象項目]			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
			<input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。 <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績書にまとめている。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れている。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)している。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     _____ / _____ = _____ %                 </div>	<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a</p> <p>評価値が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価値が80%未満.....c</p>		



工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員上司

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	工程管理が優れている	工程管理が良好である	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
		<input type="checkbox"/> 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 隣接する又は同一現場の他工事との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> 近隣住民(入居者等を含む)との調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理を行った。 <input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行なったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 工程管理がやや不備である。	<input type="checkbox"/> 工程管理が不備である。
		該当項目数5以上 …………… a	該当項目数1以上5未満 …… b	該当項目なし …… c		
	細別	a	b	c	d	e
	III. 安全対策	安全対策が優れている	安全対策が良好である	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である
		<input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制を確立し組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。 <input type="checkbox"/> 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 安全管理がやや不備である。	<input type="checkbox"/> 安全対策が不備である。
		該当項目数5以上 …………… a	該当項目数1以上5未満 …… b	該当項目なし …… c		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員上司

考査項目	細目	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	地域への貢献が優れている	地域への貢献がやや優れている	地域への貢献が良好である	地域への貢献がやや良好である	他の事項に該当しない場合
		<input type="checkbox"/> 災害時等に地域への救援活動等に協力した。 <input type="checkbox"/> 周辺地域等の環境保全、生物保護等について具体的な対策をした。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 広報活動や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。 <input type="checkbox"/> 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )				
		該当項目数6以上 ..... a 該当項目数5以上6未満 ..... a' 該当項目数3以上5未満 ..... b 該当項目数1以上3未満 ..... b' 該当項目なし ..... c				

※地域への貢献とは、工事施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、加点評価する。

## 工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員上司

審査項目	法令遵守等の該当項目一覧表																										
7. 法令遵守等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">措置内容</th> <th style="width: 20%;">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1. 項目該当なし</td> <td style="text-align: center;">-0点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 2. 指名停止3ヶ月以上</td> <td style="text-align: center;">-20点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-15点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 4. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-13点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5. 指名停止2週間以上1ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-10点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 6. 文書注意</td> <td style="text-align: center;">- 8点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 7. 口頭注意</td> <td style="text-align: center;">- 5点</td> </tr> <tr> <td>8. 現場内で、労働災害が発生した場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 労働災害の事案が複数回発生しており、労働基準監督署から複数回「是正勧告書」や「指導票」が交付された場合</td> <td style="text-align: center;">- 8点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 労働基準監督署から、「是正勧告書」が交付された場合</td> <td style="text-align: center;">- 5点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 労働災害が軽微であるため口頭注意以上の処分が無かった場合、休業4日以上の労働災害が発生した場合、休業4日未満であっても、労働基準監督署から、「指導票」が交付された場合、又は、物損公衆災害(工事作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故)例)架線の断線、上下水道等の公共施設の破損等)</td> <td style="text-align: center;">- 3点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 9. その他の適応事例</td> <td style="text-align: center;">- □点</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※当該工事現場に対する法令遵守のみの評価とする。(他工事現場での違反は評価しない。)                  ※完成検査当日までの処分内容で評価する。(完成検査日以降に処分が出たものは評価しない。)</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: small;">点</p> <p>① 本評価項目(7. 法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。                  ② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。                  ③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事するものに限定する。                  ④ 社会保険等未加入業者と下請契約(2次以降の下請契約含む。)し、完成検査日までに、社会保険等への加入が確認できなかった場合は、「9. その他の適応事例」の項目で2点を減じる措置を行う。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】 ※適応事例にレ点をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 労働者の宿舍環境等について労働安全基準法上違反があり、送検等された。</li> <li><input type="checkbox"/> 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。</li> <li><input type="checkbox"/> 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または告訴された。</li> <li><input type="checkbox"/> 6. 建設業法に違反する事実が判明した EX)一括下請け、技術者の専任違反等</li> <li><input type="checkbox"/> 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。</li> <li><input type="checkbox"/> 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</li> <li><input type="checkbox"/> 9. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。</li> <li><input type="checkbox"/> 10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。</li> <li><input type="checkbox"/> 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。</li> <li><input type="checkbox"/> 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記載されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</li> <li><input type="checkbox"/> 14. 安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。</li> <li><input type="checkbox"/> 15. 引渡し後に事故等が発生し、受注者の責による重大な瑕疵が判明した。</li> <li><input type="checkbox"/> 16. 低入札調査で虚偽の報告があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 17. 重大又は悪質な不備があった場合において、松山市建設工事・委託業務監督実施要領に定める是正要求が行われた。(文書注意)</li> <li><input type="checkbox"/> 18. その他(理由: )</li> </ul>	措置内容	点数	<input type="checkbox"/> 1. 項目該当なし	-0点	<input type="checkbox"/> 2. 指名停止3ヶ月以上	-20点	<input type="checkbox"/> 3. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	<input type="checkbox"/> 4. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	<input type="checkbox"/> 5. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点	<input type="checkbox"/> 6. 文書注意	- 8点	<input type="checkbox"/> 7. 口頭注意	- 5点	8. 現場内で、労働災害が発生した場合		<input type="checkbox"/> 労働災害の事案が複数回発生しており、労働基準監督署から複数回「是正勧告書」や「指導票」が交付された場合	- 8点	<input type="checkbox"/> 労働基準監督署から、「是正勧告書」が交付された場合	- 5点	<input type="checkbox"/> 労働災害が軽微であるため口頭注意以上の処分が無かった場合、休業4日以上の労働災害が発生した場合、休業4日未満であっても、労働基準監督署から、「指導票」が交付された場合、又は、物損公衆災害(工事作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故)例)架線の断線、上下水道等の公共施設の破損等)	- 3点	<input type="checkbox"/> 9. その他の適応事例	- □点
措置内容	点数																										
<input type="checkbox"/> 1. 項目該当なし	-0点																										
<input type="checkbox"/> 2. 指名停止3ヶ月以上	-20点																										
<input type="checkbox"/> 3. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点																										
<input type="checkbox"/> 4. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点																										
<input type="checkbox"/> 5. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点																										
<input type="checkbox"/> 6. 文書注意	- 8点																										
<input type="checkbox"/> 7. 口頭注意	- 5点																										
8. 現場内で、労働災害が発生した場合																											
<input type="checkbox"/> 労働災害の事案が複数回発生しており、労働基準監督署から複数回「是正勧告書」や「指導票」が交付された場合	- 8点																										
<input type="checkbox"/> 労働基準監督署から、「是正勧告書」が交付された場合	- 5点																										
<input type="checkbox"/> 労働災害が軽微であるため口頭注意以上の処分が無かった場合、休業4日以上の労働災害が発生した場合、休業4日未満であっても、労働基準監督署から、「指導票」が交付された場合、又は、物損公衆災害(工事作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故)例)架線の断線、上下水道等の公共施設の破損等)	- 3点																										
<input type="checkbox"/> 9. その他の適応事例	- □点																										

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

審査項目	細別	工事特性キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例
4. 工事特性	1. 施工条件への対応 キーワード評価	<p>●構造物特殊性への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化化する工事</li> <li><input type="checkbox"/> 3. その他</li> </ul> <p>※ 上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする</p> <p>●都市部等の作業環境、社会条件等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事</li> <li><input type="checkbox"/> 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事</li> <li><input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事</li> <li><input type="checkbox"/> 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事</li> <li><input type="checkbox"/> 8. 緊急時に対応が必要工事</li> <li><input type="checkbox"/> 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事</li> <li><input type="checkbox"/> 10. その他</li> </ul> <p>※ 上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする</p> <p>●厳しい自然・地盤条件への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事</li> <li><input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事</li> <li><input type="checkbox"/> 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内の工事</li> <li><input type="checkbox"/> 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事</li> <li><input type="checkbox"/> 15. その他</li> </ul> <p>上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする</p> <p>●長期工事における安全確保への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 16. 長期に事故がなく完成した工事</li> <li><input type="checkbox"/> 17. その他</li> </ul> <p>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする。</p>	<p>(1. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 切土の土工量：20万m<sup>3</sup>以上</li> <li><input type="checkbox"/> トンネル（シールド）の直径：8m以上</li> <li><input type="checkbox"/> 揚排水機場の吐出管径：φ100mm以上</li> <li><input type="checkbox"/> 堰又は水門の扉体面積：50m<sup>2</sup>/門以上</li> <li><input type="checkbox"/> 吐水（沈埋工法）の内空平均面積：300m<sup>2</sup>以上</li> <li><input type="checkbox"/> 浚渫工の浚渫土量：100万m<sup>3</sup>以上</li> <li><input type="checkbox"/> ダムの堤高：150m以上</li> <li><input type="checkbox"/> 橋梁上部工 最大支間長 100m以上</li> <li><input type="checkbox"/> 盛土の土工量：15万m<sup>3</sup>以上</li> <li><input type="checkbox"/> ダム用水門の設計水深：25m以上</li> <li><input type="checkbox"/> 堰又は水門の径間数：3径間以上</li> <li><input type="checkbox"/> 吐水（掘削工法）の開削深さ：20m以上</li> <li><input type="checkbox"/> 海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤の水深：10m以上</li> <li><input type="checkbox"/> 流路工の計画高水流量：500m<sup>3</sup>/s以上</li> <li><input type="checkbox"/> 転流トンネルの流下能力：400m<sup>3</sup>/s以上</li> <li><input type="checkbox"/> 防波堤、岸壁の水深：10m以上</li> <li><input type="checkbox"/> 護岸・築堤の平均高さ：10m以上</li> <li><input type="checkbox"/> 樋門又は樋管の内空断面積：15m<sup>2</sup>以上</li> <li><input type="checkbox"/> 堰又は水門の径間数：3径間以上</li> <li><input type="checkbox"/> 吐水（NATM）の内空平均面積：100m<sup>2</sup>以上</li> <li><input type="checkbox"/> 地滑り防止工 幅100m以上 又は法長150m以上</li> <li><input type="checkbox"/> 砂防ダムの堤高：15m以上</li> <li><input type="checkbox"/> 橋梁下部工の高さ：30m以上</li> </ul> <p>(2. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 供用中の道路トンネルの拡幅工事。</li> </ul> <p>(3. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。</li> <li><input type="checkbox"/> その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 浚渫土砂の長距離土捨て、大型ケーソン等の長距離回航、大型作業船を駆使する工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 沈埋トンネルの製作・築造で高度な技術を要する工事。特殊ケーソンの製作工事。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 理由：</li> </ul> <p>(4. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。</li> </ul> <p>(5. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 地元調整や環境対策などの制約が多い工事</li> <li><input type="checkbox"/> そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。</li> </ul> <p>(6. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 市街地での夜間工事。</li> <li><input type="checkbox"/> D I D地区での工事。</li> </ul> <p>(7. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 自交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事</li> <li><input type="checkbox"/> 工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。</li> </ul> <p>(8. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。</li> </ul> <p>(9. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 作業現場が広範囲に分布している工事。</li> </ul> <p>(10. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施工ヤードの広さや高さ制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。</li> <li><input type="checkbox"/> その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 一般船舶の航行が多く、工実施にあたり、関係機関等との調整及び施工上の制約が多い工事。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 理由：</li> </ul> <p>(11. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 河川内の橋脚工事等において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要がある生じた工事。</li> </ul> <p>(12. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 港湾、海岸、海上又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 潮流が早い又は潮位差が大きい海域のため、施工工程及び作業時間の制約や刻々と変化する状況を克服する技術を要する工事。</li> </ul> <p>(13. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事、もしくは、命綱を使用する必要があった工事（法面工は除く）。</li> <li><input type="checkbox"/> 斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 土石流危険渓流に指定された区域内における工事</li> <li><input type="checkbox"/> 逆巻施工の対応が必要な工事</li> </ul> <p>(14. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事</li> </ul> <p>(15. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。</li> <li><input type="checkbox"/> その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事</li> <li><input type="checkbox"/> その他 理由：</li> </ul> <p>(16. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事（全面一時中止期間は除く） ※但し、文書注意に至らない事故は除く。</li> </ul> <p>(17. その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> その他 理由：</li> </ul>
	記述評価 【■マークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	<p>評点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事特性により、加点評価する</li> <li>・ 加点は+20点～0点の範囲とする。</li> <li>・ 該当キーワードの数と重みを勘案して評点する。</li> </ul>	

※1. 工事特性とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術を評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。  
 ※2. 詳細評価の記述にあたっては、担当課内での責任者による合議とし、各審査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細を記述する。  
 ※3. 工事特性は「英用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

## 工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

審査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている	施工管理が良好である	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である	
	□	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号～第5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなつて</p> <p><input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 建設業退職金共済の証紙が適切に購入・配布され標識が工事現場の見やすい場所に掲示されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制が一致している。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫が見られる。</p> <p><input type="checkbox"/> 見本または工事記録写真等の整理に工夫が見られる。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員が文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>	
		<p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... b</p> <p>該当項目が80%未満 ..... c</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             _____ / _____ = _____ %           </div>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に「-」を入れてC評価とする。</p>	

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> その他(理由: ) 0							
		<div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。            ② 出来形とは、設計図書に示された工事的物の形状及び寸法をいう。            ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。            ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。            ⑤ 主たる工種の管理測点が10点以下の工事でばらつきで評価できない場合は、規格値・基準値・設計値と測定した出来形寸法との差の大小など、測定値と許容値等との関係性をもってばらつき評価に代えてもよい。</p> </div>							
		<p>※ ばらつきの判断は評定別紙5参照。</p>							

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	1. 出来形 <input type="checkbox"/>	機械設備 工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
※上記欄によらず、当該欄で評価			[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)				<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。		
●判断基準 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... a' 評価値が70%以上80%未満..... b 評価値が60%以上70%未満..... b' 評価値が60%未満..... c			_____ / _____ = _____ %				① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	電気設備 工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	<input type="checkbox"/>	※上記欄 によらず、 当該欄で 評価	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理 由: _____ ) ●判断基準 <span style="float: right;">□ / □ = □ %</span>					<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値( %) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	コンクリート構造物工事	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt;                      [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは評定別紙5参照。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下    <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下    <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える    <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能</p> <p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> スーパーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )</p> <p style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                     </p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値( )% = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	土工事 (切土、盛土、築堤工事等)	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は評定別紙5参照。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下    <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下    <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える    <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	
[評価対象項目]		<p><input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: )</p> <p style="text-align: center;">[ ] / [ ] = [ ] %</p>						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	護岸・根固・水制工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘箇所湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ ) <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                 </div>						



●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	砂防構造物工事及び地すべり防止工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。&lt;判断基準参照&gt; [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは評定別紙5参照。</p> <p><input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下    <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下    <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える    <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	
		<p>[評価対象項目] (共通)</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。</p> <p>(砂防構造物工事に適用)</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>(地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)に適用)</p> <p><input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。</p>						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

		<p>(排水ボーリング工関係)</p> <p><input type="checkbox"/> 横穴排水ボーリング工が設計図書どおり施工してあることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 横穴排水ボーリング工の施工にあたり、方向及び角度に配慮して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理記録に工夫があり、よく整理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適正で良好に施工されていることが確認できる。</p> <p>(その他)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: )</p> <p style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %         </p>		
--	--	---	--	--

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b'
75%以上90%未満	a'	b	b'	c
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	舗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能						
		[評価対象項目] (路床・路盤工関係)						
		<input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締め固めて施工していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締め固めが、タンバ等の小型締め固め機械により施工していることが確認できる。						
		(アスファルト舗装工関係)						
		<input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果により確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
		(コンクリート舗装工関係)						
		<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 曲げ強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> チェアー及びタイヤをさび、損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。						
		(その他)						
		<input type="checkbox"/> その他(理由: <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px;"></span> / <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px;"></span> = <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px;"></span> %)						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	法面工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきで判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能  [評価対象項目] (共通) <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係) <input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締め固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。  )  (種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係) <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。  )  (コンクリート又はモルタル吹付工関係) <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。  )						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値( ) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

		<p>(現場打法枠工関係)</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</p> <p>(その他)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: )</p> <p style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %         </p>		
--	--	---	--	--



●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート橋上部工事 (PC及びRRCを対象)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は評定別紙5参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能							
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリートを含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )							
		<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %							

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値( )% = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	塗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきでの判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ ) <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                 </div>						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値( ) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	トンネル工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきで判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上で施工していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ ) <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                 </div>						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	植栽工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工完了後、余刺枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ ) _____ / _____ = _____ %						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値( )% = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきで判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能						
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床場りの仕上がりに関して、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱等の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )						
		$\frac{\quad}{\quad} = \quad \%$						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	維持工事 (清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： ●判断基準 ※ 該当項目が6項目以上…… a ※ 該当項目が5項目 …… a' ※ 該当項目が4項目 …… b ※ 該当項目が3項目 …… b' ※ 該当項目が2項目以下…… c					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
	注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。ただし、評価対象項目は最大8項目とする							
	修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 理由： (例)材料の加工・組立が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 理由： (例)既設構造物の削孔およびチッピングについて、事前の調査及び施工が適切で設計図書に適合しており確認できる。 <input type="checkbox"/> 理由： (例)コンクリート、モルタル、樹脂、塗料等の施工が、設計図書に適合し施工状況が確認できる。 <input type="checkbox"/> 理由： (例)アンカーボルトの挿入及びボルトの締め付けが確実に施工され、引抜等の試験記録が保存され、長さが確認できる。 ●判断基準 ※ 該当項目が6項目以上…… a ※ 該当項目が5項目 …… a' ※ 該当項目が4項目 …… b ※ 該当項目が3項目 …… b' ※ 該当項目が2項目以下…… c					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。ただし、評価対象項目は最大8項目とする								

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	電線共同溝工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は評定別紙5参照。  <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
[評価対象項目]		<input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ ) <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                     </div>						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値( ) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II. 品質		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他(理由: )</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満..... a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満..... b</p> <p>評価値が60%以上70%未満..... b'</p> <p>評価値が60%未満..... c</p>				<p> / = %</p>		

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
II. 品質		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 製作着事前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: )</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>		
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満..... a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満..... b</p> <p>評価値が60%以上70%未満..... b'</p> <p>評価値が60%未満..... c</p>				<p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %</p>			

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事 (浚渫工事・海岸築造工事を含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能						
		[評価対象項目] (共通) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 一般船に十分注意して施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。</li> </ul> (浚渫・床掘関係) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で漏出がないよう施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 浚渫又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 土捨場に制約がなく、深掘しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 土質に対して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に抑えている。(大型船による施工で、作業日数短縮等も含む)</li> <li><input type="checkbox"/> 浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋め戻しを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。</li> </ul>						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

	<p>(地盤改良関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないように置換材を投入していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> サンドドレーン・砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され排水効果が維持されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 前記以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 盛り上がり土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍壊の恐れのないものが使用されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。</li> </ul> <p>(マット、捨石及び均し関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損がなく施工され、記録により確認できる。</li> </ul> <p>(本体:杭及び矢板、控工関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう、適切に処置されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> タイワイヤーは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。</li> </ul>		
--	---	--	--

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値( ) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

		<p>(本体:ケーソン据付、ブロック据付関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーソン据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートブロック据付等に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーソンえい航に先立ち、気象・海象等を十分調査し、適切な時期を選定されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーソンえい航に先立ち、上蓋、安全ネット又は吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーソン注水時の隔壁の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーソン仮置き、据付の時期について、仕様書を満足するよう実施されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 中詰において海上漏出がないよう施工されていることが確認できる。</li> </ul> <p>(コンクリート関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の規格が品質を証明する書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物質が鉄筋に付着しないよう保管管理がされていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が設計図書を満足したものであることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、仕様書に定められた通り行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。</li> </ul> <p>(その他)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )</p> <p style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %         </p>		
--	--	---	--	--

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  II. 品質	水路等コンクリート二次製品設置工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは評定別紙5参照。  <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
[評価対象項目]  <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 中心線の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 護岸等の根入れが図面通り実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 二次製品の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )								
		$\frac{\quad}{\quad} = \quad \%$						



●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値( %) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	管水路工事 (バイブライン)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきで判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 掘削断面に崩壊、過掘が無く、施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 管及び付属品(制水弁、空気弁等)の接合が適正である。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 中心線の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 仕様書等で示す条件により、締め固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 舗装復旧が適切に施工され、周辺との段差がない。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____)  <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                 </div>						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	林道工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは判断別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 種子吹付等に使用する材料の種類、品質及び配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 切土法面が設計図書で定められた勾配でなじみよく仕上がっている。 <input type="checkbox"/> フトン箆、カゴ棒等で材料のかみ合わせ又は連結が適切で詰石等、裏込材の流亡のおそれがない。 <input type="checkbox"/> 補強土壁工の施工に当たっては、その基礎に埋戻し土または盛土内の浸透水が流入しないよう施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 補強土壁工の壁材の組立が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 補強土壁工の補強部材が所定位置に取り付けられ、極端な凸凹が生じないように埋設されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )  <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                 </div>						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	魚礁設置工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は評定別紙5参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能							
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬、打設、締め固め、養生を行っている。 <input type="checkbox"/> コンクリート単体魚礁の型枠の取り外しに関して適切に管理されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート単体魚礁の転置、仮置に際し、強度確認を行っている。 <input type="checkbox"/> コンクリート単体魚礁の仮置は、転倒、崩壊等の恐れがない。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スパースの材質が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スパースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> 捨石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼製魚礁の溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている <input type="checkbox"/> 組立魚礁の組立が手順書等に沿って適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 組立魚礁のボルトの締付確認が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 沈設に先立ち、気象・海象等を十分調査し、沈設作業が適切に管理されており、設計図書等に定められたとおり施工されている。 <input type="checkbox"/> 運搬沈設において魚礁の破損がなく施工されている。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他(理由:							
		<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %							

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	ため池工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は評定別紙5参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能							
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 使用材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 基盤処理の施工は、仕様書に従い適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 施工基面及び法面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートの重ね幅が確保され、適切に接続されている。 <input type="checkbox"/> 築堤については、仕様書に従い適切に施工されている。(まき出し、転圧) <input type="checkbox"/> 盛土材が適切に保管管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 湧水処理は適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 雨水による、崩壊が起こらないよう排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 気象条件を考慮した施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立、継手部、かぶり等は工事に記されたとおり施工されている。 <input type="checkbox"/> 周辺地山の法面工は設計図書に基づき適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固め等の処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 付帯構造物は設計図書に基づき適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> その他(理由:							
		$\frac{\quad}{\quad} = \quad \%$							

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	シールド工事 (一次覆工) (二次覆工)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> セグメントが仕様書・製作要領書に基づいて製作されている。 <input type="checkbox"/> セグメントに損傷及び補修痕がない。 <input type="checkbox"/> セグメント組立時に目違い、異物の挟み込み等に注意し丁寧に組立を行い、所定のトルクでボルトが締め付けられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> セグメント組立後、真円保持装置を使用し形状確保に努めている。 <input type="checkbox"/> セグメント継手面シール等の防水工が、仕様書に基づき適切に施工され漏水がない。 <input type="checkbox"/> 施工後のコンクリート系セグメントにクラックの発生及びびりけがない。 <input type="checkbox"/> スチールフォーム等の取り外しに関して管理されている。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち配合試験を行い、コンクリートの品質向上に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの現場養生が、仕様書の規定に従い適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 二次覆工コンクリートにクラックの発生がない。 <input type="checkbox"/> その他(理由: ) ) [ ] / [ ] = [ ] %						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	下水道工事(開削)(推進)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは評定別紙5参照。 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
[評価対象項目](共通) <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 使用材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 塩ビ管材料は、直射日光を避けて、変形が起きないように管台を適正に配置して保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ヒューム管および推進管の種別、継ぎ手または可とう性継ぎ手、副管等、使用材料の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 管やマンホールの砂基礎、砕石基礎、コンクリート基礎の施工が適切で沈下の恐れが無い。 <input type="checkbox"/> 管の吊り込み、据付けが適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> マンホール間の勾配が一定である(中だるみが無い)。 <input type="checkbox"/> 圧送管の継ぎ手部のボルト締めを適正に行っている。(圧送管がある場合) <input type="checkbox"/> 管継ぎ手部、マンホール連結部の仕上げが良好である。 <input type="checkbox"/> マンホールブロックの接合部は、砂利・砂・ゴミ等を取り除き水密に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> マンホールのインパート形状、勾配が適当で、表面仕上げが適切である。 <input type="checkbox"/> 取付管の線形、勾配が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルトの密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗装時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 付帯工作物の復旧が適切に行われている。								

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

		<p>(開削工事関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 土留め工の施工が適切で、周辺地盤への影響が見られない。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋め戻しにおいて、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋め戻し材料について、良質な土砂又は設計図書で指定されたもので監督員の承諾を得たものを使用していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 床堀箇所湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 舗装復旧が適切に行われ、路面の不陸がみられない。</li> </ul> <p>(推進工事関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 管推進に伴う周辺地盤への影響が見られない。</li> <li><input type="checkbox"/> 立坑の復旧が適切に行われ、路面の沈下、不陸が見られない。</li> <li><input type="checkbox"/> 薬液注入に伴う管理が適切で、観測井も適切に復旧されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 裏込め注入の配合、注入圧、注入量などの管理が適切に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進法線上の地盤沈下について、沈下量の管理を行い、最小限の沈下にとどめていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進推力について、管理を行い、予定以上の負荷をかけていないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 管の目地には、予定以上の開きの無いことが確認できる。</li> </ul>		
--	--	--	--	--

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

		<p>(現場打ち人孔工事関係)</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>(その他)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )</p> <p style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %         </p>		
--	--	--	--	--

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値( )% = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	管更生工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきでの判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 事前調査において、既設管内の布設状況、取付管位置、障害物及び浸入水等の状況を十分に把握し施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 事前処理により、更生時に支障のないよう適切な措置を施している。 <input type="checkbox"/> 更生工(硬化性樹脂)の、配合・気温・硬化材温度・硬化温度・形成圧力・保持時間等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 更生工(製管材)裏込め工の、配合・気温・水温・ゲルタイム・注入吐出量・注入圧力等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 仕上がり管体内面には膨れ、皺、扁平、破損等がなく基準を満たしている。 <input type="checkbox"/> 人孔管口を適切に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 取付管口を適切に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 形成管の物性試験の結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )						
		<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %						

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値( ) % = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	上水道工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきは評定別紙5参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能							
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 管、弁、栓、篋、ボックス等の据付及び接合は、契約図書又は施工基準に適合し施工されている。 <input type="checkbox"/> 腐食防止処理等が規定どおり施工されている。 <input type="checkbox"/> 通水試験及び締め付け確認等の各種試験が適正に行われていることが確認でき、記録も適合範囲である。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材の種類、締めめ使用機種及び厚さ等、仕様書及び設計図書に適合し施工されている。 <input type="checkbox"/> 舗装復旧が適切に行われ、沈下や不陸がない。 <input type="checkbox"/> 土留め工が適切に行われ、周辺地盤への影響が見られない。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )							
		$\frac{\quad}{\quad} = \quad \%$							

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

- ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に『レ』を入れてc評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	上記以外の工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつき判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
II. 品質	0	<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %           </div>						

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 トンネル工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 5 項目以上 .....a 該当 4 項目 .....b 該当 3 項目 .....c 該当 2 項目以下 .....d	
		土工事 (盛土・築堤工事等) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 4 項目以上 .....a 該当 3 項目 .....b 該当 2 項目 .....c 該当 1 項目以下 .....d	
		切土工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 5 項目以上 .....a 該当 4 項目 .....b 該当 3 項目 .....c 該当 2 項目以下 .....d	
		護岸・根固・水制工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 4 項目以上 .....a 該当 3 項目 .....b 該当 2 項目 .....c 該当 1 項目以下 .....d	
		鋼橋工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 表面に補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 4 項目以上 .....a 該当 3 項目 .....b 該当 2 項目 .....c 該当 1 項目以下 .....d	
		地すべり防止工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 3 項目以上 .....a 該当 2 項目 .....b 該当 1 項目 .....c 該当項目なし .....d	
		舗装工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 5 項目以上 .....a 該当 4 項目 .....b 該当 3 項目 .....c 該当 2 項目以下 .....d	
		法面工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 3 項目以上 .....a 該当 2 項目 .....b 該当 1 項目 .....c 該当項目なし .....d	

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	基礎工事 (地盤改良等を含む) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。		※ 該当3項目以上……a 該当2項目……b 該当1項目……c 該当項目なし……d	
		コンクリート橋上部工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当5項目以上……a 該当4項目……b 該当3項目……c 該当2項目以下……d	
		塗装工事 (工場塗装を除く) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当4項目以上……a 該当3項目……b 該当2項目……c 該当1項目以下……d	
		植栽工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当3項目以上……a 該当2項目……b 該当1項目……c 該当項目なし……d	
		防護柵(網)工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当5項目以上……a 該当4項目……b 該当3項目……c 該当2項目以下……d	
		標識工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当4項目以上……a 該当3項目……b 該当2項目……c 該当1項目以下……d	
		区画線工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当4項目以上……a 該当3項目……b 該当2項目……c 該当1項目以下……d	

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	電線共同溝工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 3 項目以上 .....a 該当 2 項目 .....b 該当 1 項目 .....c 該当項目なし .....d	
		機械設備工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等に於いて、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 4 項目以上 .....a 該当 3 項目 .....b 該当 2 項目 .....c 該当 1 項目以下 .....d	
		電気設備工事 照明設備工事 その他類似工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 5 項目以上 .....a 該当 4 項目 .....b 該当 3 項目 .....c 該当 2 項目以下 .....d	

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	港湾築造工事 (海岸築造工事を含む) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 構造物等の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 4 項目以上 ……a 該当 3 項目 ……b 該当 2 項目 ……c 該当 1 項目以下 ……d	
		港湾浚渫工事 (地盤改良工事を含む) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 浚渫及び盛上がり等の土砂が適切に処理されて		※ 該当 3 項目以上 ……a 該当 2 項目 ……b 該当 1 項目 ……c 該当項目なし ……d	
		水路等コンクリート二次製品設置工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の構造物等へのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 製品のかみ合わせが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 5 項目以上 ……a 該当 4 項目 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		ほ場整備工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 整地仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 営農に十分配慮された施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 水路や道路の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 法面仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 吸水渠、集水渠、水開、排水口の配置が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 6 項目以上 ……a 該当 4 項目以上 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		林道工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 切取・盛土法面の仕上げが良く、規定された法勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物等の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の天端仕上げ、端部仕上げ等が良く、地山とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付け等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 路面仕上げ、敷砂利が良好に施工されており路面状況が良い。 <input type="checkbox"/> 排水施設の施工が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 6 項目以上 ……a 該当 4 項目以上 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		魚礁設置工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 沈設位置の精度が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		※ 該当 4 項目以上 ……a 該当 3 項目 ……b 該当 2 項目 ……c 該当 1 項目以下 ……d	
		ため池工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 全体的な美観が優れている。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 波除ブロック等の施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。		※ 該当 4 項目以上 ……a 該当 3 項目 ……b 該当 2 項目 ……c 該当 1 項目以下 ……d	

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	シールド工事 (一次覆工)	<input type="checkbox"/> シールドトンネル構造物の通りがよい。 <input type="checkbox"/> コンクリート系セグメントの表面に補修箇所がなく、肌がよい。または、鋼製セグメントの有害な変形がなく、溶接箇所等に亀裂がない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけがよい。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。		※ 該当 4 項目以上 ……a 該当 3 項目 ……b 該当 2 項目 ……c 該当 1 項目以下 ……d	
		シールド工事 (二次覆工)	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物にクラックがなく肌が良い。または、内挿管の継手部の仕上がりがよい。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 勾配が均一で水溜まりがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 既設管との接続部の仕上がりがよい。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。		※ 該当 5 項目以上 ……a 該当 4 項目 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		下水道工事 (開削)	<input type="checkbox"/> マンホール・樹等の目地仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 管口の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> マンホール・樹等と既設路面との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 管路の通り、状態がよい。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。		※ 該当 6 項目以上 ……a 該当 4～5 項目 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		下水道工事 (推進)	<input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。 <input type="checkbox"/> 管路の通りがよい。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 管目地、注入孔の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 管口の仕上げがよい。		※ 該当 5 項目以上 ……a 該当 4 項目 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		管更生工事	<input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。 <input type="checkbox"/> きめ細かい施工がなされており、傷または、補修痕がない。 <input type="checkbox"/> 管口の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> しわ、膨れがない。 <input type="checkbox"/> 真円度がよい。 <input type="checkbox"/> 嵌合、融着の状態がよい。		※ 該当 5 項目以上 ……a 該当 4 項目 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		上水道工事	<input type="checkbox"/> 管及びボックスと路面とのすりつけがよい。 <input type="checkbox"/> 新設舗装と既存舗装との間に段差がなく破損やクラックもない。 <input type="checkbox"/> 付帯工事を含め、全体的な美観がよい。 <input type="checkbox"/> 仕切弁・消火栓等の取まりがよい。 <input type="checkbox"/> 完成図書が的確で見やすく作成されている。		※ 該当 5 項目以上 ……a 該当 4 項目 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		上記以外の工事	<input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：		※ 該当 4 項目以上 ……a 該当 3 項目 ……b 該当 2 項目 ……c 該当 1 項目以下 ……d	
			※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。			